

NAGAHORI REPORT

VOL. 33

発行所：NPO 法人 長堀 21 世紀計画の会・事務局（TEL06-6241-0505）

セミナー開催

講師：岡本好央先生

幕末・維新に学ぶ政治の要諦—氷川清話を読む



去る10月4日(火)、「湖月」にて、元・関西学院大・経営戦略科教授・岡本好央先生から、標記テーマについて講演していただきました。

「氷川清話」は、江戸城を無血開城し、明治維新に導いた幕末明治の政治家・勝海舟が語った人物評、時局批判、歴史の裏話などの語録集。貴重な時代の証言です。

特に今、リーダーたるものに必要な“困難にどう立ち向かうか”、“その教訓を将来にどう生かしていくか”について、「氷川清話」は貴重なヒントを与えてくれると、岡本先生は言います。以下、先生のお話の概略です。

岡本好央先生・プロフィール

昭和16年奈良県桜井市生まれ

神戸大学経営学部卒業

住友信託銀行(株)代表取締役社長

住信基礎研究所(株)代表取締役社長

関西学院大学教授を経て

現在、奈良県公安委員

「世界」の近代化は、白人支配の歴史であった。西洋人は、西洋文明は優れた文化であるとうぬぼれていた。しかし、日本の文明は、それよりはるかに優れていた。世界中の国々が西洋諸国の植民地になった幕末、押し寄せる列強諸国の介入を許さず、明治維新を成し遂げ、アパルトヘイトの蔓延を食い止めたのは、日本である。これは明治維新の大きな意義であった。

当時、列強を相手に日本が選択を誤らなかったのは、吉田松陰、勝海舟、西郷隆盛など列強の圧力に屈しない知力と気概を持った政治家がいたからだ。こうした強力な指導者を続々と生み出す優れた文化土壌が、明治までの日本にはあった。

翻って、今の日本の政治は？

無惨な姿を国民にさらし、海外から侮られ、まったく指導力を失っている。なぜこうなったのか。

戦後、日本は2度と戦争しないように骨抜きにされ、この国を守り、作ろうという気概を失ってしまった、加えて国際感覚の欠如による危機感の喪失。これが今の政治の混迷の根本原因だと思う。

維新の教訓に倣って、戦後の歴史教育を見直し（自虐的史観から脱却）、文武両道、胆力が据わったリーダーを輩出する文化的土壌を取り戻さなければならない。



セミナー会場風景

ご協力お願いします

大阪マラソン“グリーンUP”作戦

順慶町～周防町間

10月26日(水)
午後0時30分～1時まで
いつものよってこ前集合
お願いします

10月30日の大阪マラソンをきれいな町で迎えるために、7日間、大阪全域で清掃活動が実施されます。大阪市から当会にも協力依頼があり、26日に参画します。今回は長堀通りではなく、順慶町～周防町間の清掃です。

クリスマスコンサートは12月15日(木)

10回目の実施です。コンサートは、今年も(株)大丸松坂屋さまのご好意で、大丸心齋橋劇場で開催します。チケット売り上げ金の一部を、今回は東北震災復興に寄付します。(クリスマスイベント委員会)

次回セミナーは、11月25日(金)

テーマ：健康生活の極意

講師：医学博士・岡藤龍正先生

新しい事務局は、長堀通りに面した大きな窓から、お陽さまがさんさん。明るく気持ちいい。気軽にお立ち寄りを

街づくり委員会

- ①「長堀・心齋橋・南船場における観光をテーマとした集客への提言」書の見直しをしています。
- ②御堂筋空間利用検討会(主催：国交省、大阪市)に「側道の改造と自転車と歩道の分離」を提案し、その実現に向けて大阪市のビジョン作りを要請。これについては会を挙げて取り組み、地域諸団体と連携しながら、人に優しい道作りを検討中。



紹介しま～す！ 元気印の新・事務局

社長秘書歴35年、マネジメントは超Aクラス

荒尾利子さん(ソーエー(株)代表取締役)



今年5月、事務局独立に当たり、藤本事務局長の後任として事務局担当に就任。元は半導体材料の輸入商社のベテラン社長秘書だった。会員暦は20年、かつて広報親睦活動の一環として、農家と契約して無農薬野菜を長堀通りで売り、「ビジネス街の朝市」として話題になったことも。2年前に独立してソーエー(株)を設立、今度は秘書ではなく社長として、半導体材料の輸入と安全・健康食品の普及に勤めている。

経歴上、渉外とマネジメントはお手のもの。それに加え、会う人みんなを元気にしてしまう明るいお人柄、涙もろくて、ちょっとおきゃん、長堀版「情熱大陸」を地でいく純粋ハートの持ち主である。美空ひばりを歌わせると超難関審査にラクラク100点！